

# 総務産業常任委員会所管事務調査報告

## 意見（抜粋）

### （1）総務グループ（調査日7月23日）

○高齢者共同生活施設「せせらぎ」：供用開始から20年ほど経過しており、施設の老朽化も進んで来ていることから引き続き適切な維持管理に努めるとともに、指定管理者と連携を図りながら入所者が快適に生活できる環境づくりに努めていただきたい。○多機能型支援事業所「ワークショップいまかね」：「しいたけ栽培」と「パンの製造」を中心に行っているが、「しいたけ栽培」については、価格の低迷から厳しい経営状況にある。○障がい者支援施設「ひかりの里」：入所者の高齢化や職員の確保など多くの課題を抱えているので、障がい者が安心して暮らせるよう、町と事業者が課題等を共有し、課題解決に向けた取り組みに期待する。○特別養護老人ホーム「豊寿園」：昭和50年開設で設備等の老朽化が進んでいる。また、豊寿園は、低所得者でも経済的に入居できる施設のため、特に入所待ちの待機者が多い現状にある。高齢化率を見据えた待機者の解消に向けた町の今後の取り組みに期待する。○今金消防署：現在20名の職員体制で活動を行っているが、今年度は職員を1名増員することにより、更なる体制の充実が図られるので、一層迅速な救助活動等に期待する。○八幡町にある旧マーケット建物：権利者との協議を進めている段階であるが、空家等対策協議会に諮りながら、管理不全な空家の解消に向けて、スピード感をもって対応されるよう望む。○防災用備蓄品：更なる内容の充実と計画的な配備を今後も進めるよう望む。

### （2）産業グループ（調査日7月26日）

○鈴岡揚水機場：築造されてから既に30年以上が経過しており、電気設備、ポンプ設備等は、水漏れ、動作不良等が生じている。各設備は耐用年数が大幅に超過しているため、交換部品も調達できない状況にあり、突然の故障により設備全体の機能停止に陥る可能性もあることから、計画通り改修事業を推進されることを望む。○今金南地区・鈴金利別工区の現場：国営緊急農地再編事業の進捗状況の説明を受けた。鈴金利別工区は、ほ場の整地を終え、暗渠排水や客土の施工を行っていた。国営事業を計画どおり推進するため、引き続き予算確保に努めていただきたい。なお、基盤整備により大区画化、地下灌漑が整備され、汎用田（水田・畑作両用）での施工により、田畑輪換（水田と畑作の輪作）が可能となっている。○田代地区の乾田直播ほ場：檜山農業改良普及センター檜山北部支所では、ドローンによる空撮や土壌改良モニタリング等の各種調査を行っていた。本町においても基盤整備後の経営規模拡大化に対応のため、ICT（情報通信技術）を活用した農業のあり方等を調査研究することが望まれる。○いちご栽培ハウス：今金高等養護学校卒業生の就労場所となっているが、現状のハウス1棟では作業効率や生産性など課題も多く見受けられることから、町と企業とで一層連携を図りながら課題解決に向けて努力されたい。○新総合体育館：スポーツアドバイザーの配置により、利用増加に繋がっていると思われるが、更なる利便性の向上のため利用者のニーズに適した体制等を検討されたい。○史跡ピリカ遺跡ガイダンス施設：昨年はリニューアル効果もあり大幅に入館者が増加していたが、今年は入館者が減少しているため、引き続きPRに努めるとともに、町民に広く興味をもって入館していただくような施策に期待する。○学童保育所：より快適な保育環境となるよう改善に努めるとともに、日頃からの指導など交通安全対策にも十分配慮されたい。○今金浄化センター：長寿命化を計画どおり推進するため、引き続き予算確保に努めていただきたい。



ワークショップいまかねのしいたけ栽培の様子



新総合体育館研修室にて



史跡ピリカガイダンス施設にて